



奈良県感染症情報

令和6年第10週(3月4日～3月10日)

奈良県感染症情報センター(奈良県保健研究センター)

<https://www.pref.nara.jp/27874.htm> TEL:0744-47-3183

今週の概要

- 小児科外来情報

◆ 定点把握感染症報告状況(定点当たり患者報告数の上位5疾患) ◆

順位	疾患名	奈良県			北部	中部	南部
		定点当たり	(前週)	増減			
1	インフルエンザ	9.39	(10.09)	↓	↓	↓	↓
2	新型コロナウイルス感染症	6.63	(9.30)	↘	↘	↘	↘
3	感染性胃腸炎	5.67	(5.27)	→	↘	→	→
4	A群溶連菌咽頭炎	3.06	(2.42)	→	→	↗	↘
5	RSウイルス感染症	1.18	(0.36)	↑↑	↑↑	↑↑	↑↑

発生状況: **大流行** **流行** **やや流行** **少し流行** **散発** (疾患毎に、基準値を定めています。)

※新型コロナウイルス感染症等、基準値のない疾患については発生状況の評価を行っておりません。

増減: 過去5週間平均数と比べたときの変化 **↑↑急増**、**↑増加**、**↗やや増加**、**→横ばい**、**↘やや減少**、**↓減少**

◆ 県内概況 ◆

インフルエンザの定点当たり報告数は9.39で、警報終息基準値の10.00を下回りました。地域別では奈良市及び中和地区西部地域で10.00を超えています。新型コロナウイルス感染症の定点当たり報告数は6.63とやや減少傾向ですが、入院者数は前週よりも増加しました。引き続き換気、消毒、人との距離の確保、及びマスクの着用といった感染防止対策の継続をお願いします。

A群溶連菌咽頭炎の定点当たり報告数は3.06で、高い水準が続いています。中和地区西部地域では警報開始基準値の8.00を超えており注意が必要です。

RSウイルス感染症の報告数が県全域で急増し、過去10年間平均の同時期と比較して多くなっています。RSウイルスは、いわゆる“風邪ウイルス”のひとつで年齢を問わずヒトに感染し、とくに乳幼児が初めて感染すると重症化しやすいとされています。主な感染経路は接触、飛沫感染です。乳幼児の集団生活の場や家庭では、手洗いをしっかりするなどの感染予防に努めてください。

◆ 小児科外来情報 ◆

北部地区(田中小児科医院)

COVID-19は減少している。B型インフルエンザ(ほぼ全例、予防接種未接種者)、溶連菌感染症と感染性胃腸炎では減少傾向はない。RSウイルス感染症が複数の保育園で発生している。水痘の発生があった。

中部地区(岡本内科こどもクリニック)

インフルエンザBは散見される程度に減少。インフルエンザAは見られなくなった。

COVID-19は減少したがまだわずかに見られる。

感染性腸炎の流行が続いておりノロ陽性例が多い。

10歳代を中心にA群溶血性連鎖球菌が流行。

14歳男子のA群溶血性連鎖球菌感染症で加療するも40度の高熱が持続、

初期より四肢筋肉痛があり劇症型が懸念され紹介予定の例があった。

RS陽性例はなかった。手足口病は僅かずつ持続。

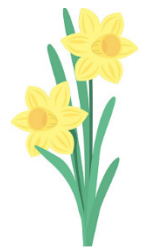
南部地区(南奈良総合医療センター小児科)

インフルエンザBの流行はやや落ち着いてきた。インフルエンザAはほとんどみられなくなった。

COVID-19の流行は続いている。小児では大部分が普通感冒様で経過している。

RSウイルス感染症は散見されるのみ。マイコプラズマ陽性例が増加してきた。COVID-19との合併例もみられた。

ウイルス性胃腸炎の流行もみられ、便よりノロウイルスやアデノウイルスが検出されている。



❖ 定点把握感染症報告状況 ❖

令和 6 年 第 10 週 3 月 4 日 ~ 3 月 10 日

保健所別報告数	奈良県		北部		中部		南部	
	奈良市	郡山	中和(東)	中和(西)	吉野			
インフルエンザ	54	13	14	11	10	6		
インフルエンザ	507	134	112	92	141	28		
	(9.39)	(10.31)	(8.00)	(8.36)	(14.10)	(4.67)		
新型コロナウイルス感染症	358	60	89	70	95	44		
	(6.63)	(4.62)	(6.36)	(6.36)	(9.50)	(7.33)		
小児科定点数	33	8	9	7	6	3		
RSウイルス感染症	39	9	10	2	17	1		
	(1.18)	(1.13)	(1.11)	(0.29)	(2.83)	(0.33)		
咽頭結膜熱	20	3	6		8	3		
	(0.61)	(0.38)	(0.67)		(1.33)	(1.00)		
A群溶連菌咽頭炎	101	10	23	14	49	5		
	(3.06)	(1.25)	(2.56)	(2.00)	(8.17)	(1.67)		
感染性胃腸炎	187	33	46	50	42	16		
	(5.67)	(4.13)	(5.11)	(7.14)	(7.00)	(5.33)		
水痘	2	1	1					
	(0.06)	(0.13)	(0.11)					
手足口病	20	1	7	4	8			
	(0.61)	(0.13)	(0.78)	(0.57)	(1.33)			
伝染性紅斑								
突発性発しん	7	1	1	1	4			
	(0.21)	(0.13)	(0.11)	(0.14)	(0.67)			
ヘルパンギーナ								
流行性耳下腺炎								
眼科定点数	10	3	3	2	2	0		
急性出血性結膜炎								
流行性角結膜炎	9	1	2	6				
	(0.90)	(0.33)	(0.67)	(3.00)				
葛城定点数	6	1	2	1	1	1		
細菌性髄膜炎	1			1				
	(0.17)			(1.00)				
無菌性髄膜炎								
マイコプラズマ肺炎	3						3	
	(0.50)						(3.00)	
クラミジア肺炎								
感染性胃腸炎(ロタウイルス)								

❖ 全数把握感染症報告状況 ❖ ()は保健所別内訳

1類感染症	
2類感染症	結核7件(奈良市1、郡山3、中和3)
3類感染症	
4類感染症	
5類感染症	梅毒1件(中和1)、 麻しん1件(奈良市1)

❖ 入院基幹定点報告状況 ❖

インフルエンザ	1	新型コロナウイルス感染症	36
---------	---	--------------	----

❖ 第 10 週のトピックス ❖

新型コロナウイルス感染症に関する抗体保有状況調査について
(厚生労働省HP)

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000121431_00132.html

※データは報告数集計の速報値として公開するものであり、後日奈良県感染症情報(週報)、さらには確定データとしての年報において修正される場合があります。

※令和3年12月20日より吉野保健所は吉野保健所に統合されましたので、旧内吉野保健所分は吉野保健所として集計しています。

※平成27年2月16日より桜井保健所と葛城保健所は統合され中和保健所となりました。旧桜井保健所分は中和(東)、旧葛城保健所分は中和(西)として集計しています。

上段 : 報告数
(下段) : 定点当たり報告数 報告数÷定点数

年齢別報告数

年齢区分	年齢	0-5M	6-11M	1歳	2	3	4	5	6	7	8	9	10-14	15-19	20-29	30-39	40-49	50-59	60-69	70-79	80-	合計	累計
インフルエンザ	男	1	2	9	13	11	10	21	21	23	23	28	66	13	8	8	4	1			1	263	5592
	女	1		4	14	9	10	24	26	12	25	24	55	11	6	14	3	1	5		1	244	4846
新型コロナウイルス感染症	男	2	2	7	1	1	5	6	5	3	7	4	24	5	11	16	14	21	19	11	7	171	2570
	女	2	2	8	5	4	3	6	6	2	5	4	12	6	13	22	22	27	17	15	8	187	2839
RSウイルス感染症	男	3	1	4	6			2					2									18	37
	女			9	7	1	3	1														21	32
咽頭結膜熱	男			4	3	1	2				1		1									12	170
	女			2	1	1	1								2							8	157
A群溶連菌咽頭炎	男				3	7	9	3	11	6	6	4	6	1	1							57	500
	女				3	1	5	3	8	5	7	7	3	1	1							44	380
感染性胃腸炎	男	2	3	7	10	6	11	6	8	8	8	4	11	5	7							96	1155
	女	3	1	12	10	6	8	5	10	8	6	4	7	1	10							91	1009
水痘	男						1					1										2	23
	女																						17
手足口病	男			8		1	2	1	1													14	67
	女			2	1	1			1						1							6	61
伝染性紅斑	男																						
突発性発しん	男		1	3					1													4	38
	女			2																		3	31
ヘルパンギーナ	男																						3
	女																						8
流行性耳下腺炎	男																						2
	女																						2
急性出血性結膜炎	男																						1
	女																						
流行性角結膜炎	男	1		1			2									1		1	1		1	7	30
	女								1													2	29
細菌性髄膜炎	男																					1	2
	女																						
無菌性髄膜炎	男																						
	女																						
マイコプラズマ肺炎	男				2																	2	3
	女				1																	1	1
クラミジア肺炎	男																						
	女																						
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	男																						
	女																						

注目疾患の動向 全て定点当たり報告数

■ R6 ▲ R5 □ R4 〰 過去10年平均

